

令和4年第1回富谷市議会定例会

一般質問通告書

質問順	氏名	質問順	氏名
1	菅原 福治	7	若生 英俊
2	安住 稔幸	8	長谷川 る美
3	浅野 直子	9	渡邊 清美
4	畑山 和晴	10	藤原 峻
5	金子 透	11	村上 治
6	出川 博一	12	塩田 智明

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1
受付月日	2月15日(火)
受付時間	8:56

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 2月15日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 13 番 菅原 福治

質 問 方 式 一括方式 一問一答方式

令和4年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	菅原 福治
質問方式	一括 ・ 一問一答

No. 1 質問件名 利用者視点に立った行政デジタルサービスの実現について

【質問要旨】－簡明に－

一昨年9月に発足した菅内閣の目玉政策の1つが、行政のデジタル化を進めるデジタル庁の創設でした。

行政においては、利用者視点に立ったデジタルサービスに手続きを変えることです。

本市のデジタルサービスの状況と、マイナンバーカードの取得、マイナポータルを活用、デジタルトランスフォーメーション（DX）の考え方、また、高齢者にやさしいデジタルについて伺います。

そこで、以下の点について問う。

【質問項目】－列記－

- 1 市民に向けた行政手続きのデジタル化（オンライン申請）の現状は
- 2 コロナ禍において行政のデジタル化は、どのような進捗が図られたのか
- 3 政府が運営するマイナポータルの活用方法は
- 4 本市のデジタルトランスフォーメーション（DX）推進に向けての考え方は
- 5 高齢者にやさしい行政デジタルサービスについての考え方は

答弁を求める者 市長

議員名	菅原 福治
質問方式	一括・一問一答

No. 2 質問件名 2050年ゼロカーボン戦略にどのように向き合うのか

【質問要旨】－簡明に－

菅前総理の所信表明において、2050年までに脱炭素社会の実現についてデジタル庁の設置と同時に宣言をされました。

その上で、昨年2月10日市長より「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、水素エネルギーを活用した取組みや、様々なエネルギー分野で総合的な脱炭素社会を目指すことの宣言をされました。

本市はこれまでも、2017年8月環境省委託事業の地域連携低炭素水素技術実証事業をスタートし、「とみやから始まる未来の暮らし」をスローガンに脱炭素に向けた水素を活用したプロジェクト事業を行っているところです。

さらには先日、本市の2050年ゼロカーボンに向けた、13の戦略が発表され、具体的に動き出しました。

このように本市は、この環境分野においても、先進自治体として取り組んでいます。そこで、以下の点について問う。

【質問項目】－列記－

- 1 本市の2050年ゼロカーボン戦略の考え方について
- 2 ゼロカーボンに向け事業者や市民に対し、どのように共感が得られる普及啓発を推進するのか
- 3 特に企業に対して特化した脱炭素・ゼロカーボンの取組み要請は
- 4 本市の2030年、中間目標までの省エネ・再エネの取組みについて
- 5 本市のゼロカーボン戦略における、目標管理の指標等、進捗管理の内容について

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	2
受付月日	2月15日(火)
受付時間	9:27

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 2月15日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 15 番 安住 稔幸

質 問 方 式 一括方式 一問一答方式

令和4年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	安住 稔幸
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 <input type="checkbox"/> 一問一答

No. 1 質問件名 富谷市への総合病院の誘致について

【質問要旨】－簡明に－

宮城県は、昨年9月9日に、宮城県立がんセンターと仙台赤十字病院、東北労災病院と宮城県立精神医療センターの枠組みで再編し、二つの拠点病院を新設する方針を明らかにしました。宮城県立がんセンターと仙台赤十字病院は名取市、東北労災病院と宮城県立精神医療センターは富谷市に移転し合築整備をするとされております。

富谷市への誘致は、富谷市民はもとより、黒川地域及び周辺自治体においても多くの住民が望むものと思います。

誘致実現に向けて、より一層の取り組みを求めます。

【質問項目】－列 記－

- 1 県の4病院再編についての認識は
- 2 富谷市への誘致については、今後、どのように進められるか

答弁を求める者 市長

議員名	安住 稔幸
質問方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 <input type="checkbox"/> 一問一答

No. 2 質問件名 孤独死、孤立死防止対策について

【質問要旨】－簡明に－

日本では高齢化により独居老人が増えたことで、自宅でひとり亡くなっていく孤独死が増えています。なかには亡くなった後も数日間放置される孤立死も多く発生しており、社会問題となっています。

このような状況に至っている背景には、核家族化などにより一人暮らし高齢者が増えている。地域での人間関係が稀有になり特に男性は孤立しがち。などが考えられます。

対策の推進を求めます。

【質問項目】－列記－

- 1 孤独死、孤立死への認識は
- 2 富谷市の65歳以上の高齢者夫婦世帯数及び高齢者の一人暮らし世帯数（男女別に）は
- 3 現在の対策と推進状況は
- 4 課題と今後の対策は

答弁を求める者 市長

議 員 名	安住 稔幸
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 3 質問件名 飲料等の自動販売機設置とリサイクルボックスについて

【質問要旨】－簡明に－

市有財産の有効活用についてです。

全国で公有財産の管理を見直し、その有効活用が行われております。例えば、清涼飲料等の自動販売機の設置使用料を、入札契約とするものです。この方式を導入している自治体が増えてきており、入札にすることによって、それまでの設置使用料より、歳入増になっていると聞いています。

市有財産の有効利用という観点から、また、歳入増を図ることで、自動販売機の設置について入札契約にはいかがでしょうか。

次に、自販機リサイクルボックスの異物混入低減への取り組み等についてです。

「PETボトルリサイクル推進協議会」によると、我が国のペットボトルの回収率は世界でもトップレベルであり、温暖化防止等の観点では、温室効果ガス排出量の削減に貢献するなど、大幅に環境負荷を低減していると分析されています

しかし、回収ボックスにペットボトル以外のごみの混入という問題が生じています。それは、自動販売機に併設されたペットボトルのリサイクルボックスに、ペットボトル以外の大量のごみ・異物混入などがあるということです。

ペットボトル以外の捨てられた家庭ゴミ等は、一般廃棄物となり、市町村の責務となります。取り組みを伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市の公共施設の自動販売機の設置状況と設置使用料の実績は
- 2 自動販売機の設置使用料への入札契約の導入は
- 3 自動販売機リサイクルボックスへの異物混入問題への認識は
- 4 異物は一般廃棄物であり、本来は自治体に処理する責任があると考えますが、見解は
- 5 行政として、業界と連携し、異物混入が異常に多いエリアの調査を含めた実態の把握、回収ボックスの適切な設置など、官民共同での対策の推進は

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	3
受付月日	2月15日(火)
受付時間	10:57

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 2月15日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 17 番 浅野 直子

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	浅野 直子
質問方式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 重層的支援体制整備事業について

【質問要旨】－簡明に－

本市の今年度予算概要に、新規で重層的支援体制整備事業移行準備事業が発表されました。令和2年6月に改正社会福祉法が成立をして、令和3年4月より全国の各自治体でも包括的支援体制の新規事業が進められています。

昨年年第4回定例会において、論旨でも重層的支援について述べさせていただきましたが、国の重層的支援体制整備事業に「相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」が示されました。計画的に複数年かかる事業ではないかと思いますが本市が示した移行準備として「庁内連携体制構築事業」はどのような内容で、実際に事業の展開はいつになるのか、詳しく伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 重層的支援体制整備事業は、今までの支援に新規で3つの内容が追加されていますがそれぞれ伺います
 - ① 属性を問わない相談体制について
 - ② 参加支援について
 - ③ 地域づくりに向けた支援について
- 2 移行準備として「庁内連携体制構築事業」が示されていますが、期間と内容について伺います
- 3 令和3年4月に事業展開ができなかった理由について伺います
- 4 重層的支援体制整備事業の推進により、どのような効果が期待できますか伺います

答弁を求める者 市長

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 女性デジタル人材育成の推進について

【質問要旨】－簡明に－

誰一人取り残さないデジタル社会へ加速する中で、どのように向き合っていくのか。デジタル社会の担い手となる人材を充実させるためには、女性の就労促進に向けた環境整備は大変重要であると考え質問します。

コロナ禍にあつて非正規で働く女性を中心に減収や失業などで困窮する方が増えています。デジタル分野の仕事は、感染症の影響を受けにくいため、育児や介護をしながらテレワーク等で取り組む企業もあります。

この機会を活かして、女性がデジタル技術のスキルを習得し、仕事ができるように国の地域女性活躍推進交付金を活用して取り組むべきと思います。NPO法人などに業務委託して人材育成を図る推進が求められますが見解を伺います。

また、デジタル田園都市国家構想の取り組みが推進されていますが、本市の考え方と今後に向けた取り組みを伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市における地域活躍推進交付金を活用した取り組みについて伺います。
- 2 女性デジタル人材育成への推進について伺います。
- 3 国が進めるデジタル田園都市国家構想について、本市の考え方と、今後に向けた取り組みを伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	4
受付月日	2月15日(火)
受付時間	13:13

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 2月15日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 7 番 畑山 和晴

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	畑山 和晴
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 保育所、幼稚園、小中学校の防犯対策を問う

【質問要旨】－簡明に－

令和3年11月9日に登米市のこども園に刃物を持った男が侵入する事件がありました。幸い気づくのが早く迅速な対応をしたことにより、子ども達の命は守られました。悲しいことですが、いつ、どこで、このような事件が発生してもおかしくない時代になってきており、子ども達の安全、並びに職員の安全を確保するためには、さらなる防犯対策を強化すべきであると思います。

【質問項目】－列 記－

- 1 ベースとなる防犯マニュアルとは別に、各施設、学校ごとの状況にあった対応策を考える必要があると思いますが、見解は
- 2 保育所、幼稚園、小学校においては、女性教諭が多いが、例えば、いくらさすまたの使い方を教えたとしても、力のある男性であれば太刀打ちできない状況になると思います。女性職員に対する安全対策をどう考えるのか、見解は
- 3 各保育所、幼稚園は、フェンスも低く、すぐに乗り越えられる高さとなっており、一瞬で侵入される恐れがあります。例えば、フェンスを高くするとか、触れると音が鳴るとか、職員がすぐに気づく対策が必要であると思いますが、見解は
- 4 防犯カメラは、各中学校区に設置されておりますが、保育所、幼稚園にも設置し、小学校、中学校には増設することが必要だと思いますが、見解は
- 5 警察や各関係機関との連携はどのようになっているのか、見解は
- 6 不審者が侵入した際に、子ども達が避難する経路などの訓練はしていますか
また、保護者にもこういった流れで不審者対策を行っていると通知はしていますか

答弁を求める者 市長

議 員 名	畑山 和晴
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 「とみやど」の運営と観光対策を問う

【質問要旨】－簡明に－

「とみやど」がオープンし、早い段階で来場者が10万を超えました。非常に素晴らしい結果であると思います。しかし、厳しい見方をすれば、オープン効果というのは長くても1年と言われており、次々に変化していかなければ飽きられてしまうのが現実であると思います。その中で、来年度より地域商社が立ち上がり運営をしていくことで、こういった不安要素はおそらくなくなると思います。

このようなことから、地域商社の役割、行政側の役割をしっかりと確立していくことで、とみやどを中心にしんまち通り界隈の活性化により、観光の充実が図られるのではないかと思います。

【質問項目】－列 記－

- 1 地域商社にどこまで運営を委ねられるのか、見解は
- 2 市内企業のネットワーク、とみや塾生のネットワークがマーケティングにつながり、広く市民に伝わることと思いますが、見解は
- 3 「とみやど」内にも、小さな水場とか、子どもと親、お孫さんと祖父母が遊べるような小さな施設は必要であると思いますが、見解は
- 4 歴史、伝統を重んじるのは大切ですが、それが足かせになってしまうことが多くみられます。新たな歴史文化の創出が必要であると思います。例えば、以前、私が一般質問したブルーベリーでワインの再考や、市民が考える富谷B級グルメなどがあると思います。見解は
- 5 ○○の聖地というような、その聖地を求めてきてくれるような仕掛けが必要であると思いますが、見解は
- 6 以前に、しんまち公園についてを一般質問で行いましたが、しんまち公園の在り方も検討する時期に来ていると思いますが、見解は
- 7 しんまち通り内の空家や古民家の再生により、「とみやど」だけに行く通りではなく、その過程も楽しめる方策が必要では

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	5
受付月日	2月16日(水)
受付時間	10:19

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 2月16日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 8 番 金子 透

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	金子 透
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 公共施設の整備、維持、管理、更新を問う

【質問要旨】－簡明に－

今後、本市で整備すると考えられる公共施設は、現在の清掃センターに代わるゴミ処理関連施設。また、黒川地域行政事務組合の事業ではありますが、本市で施設用地を用意して整備する消防施設。この2つの施設整備は近い将来に必ず行わねばならぬ施設整備と思います。施設整備される近辺の市民の皆様の理解と協力は大変重要と考えます。

また、維持、管理、更新では全体を見据え計画的に行うべきであり、特にライフラインである上水道の配水管等の更新は早急に完了すべきと考え質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 ゴミ処理関連施設整備に関して、用地の選定や年次計画を策定すべきと考えるが見解は
- 2 本市南東部の消防力強化のための、消防施設整備に関して、用地の選定等開始すべきと考えるが見解は
- 3 上水道の配水管等の更新に関して今後の計画は
- 4 公共施設全体の維持、管理、更新で、財政面も含めた詳細な年次計画を策定すべきと考えるが見解は

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	6
受付月日	2月16日(水)
受付時間	16:43

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 2月16日

富谷市議会

議長 青柳信義 殿

富谷市議会議員 14 番 出川 博一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	出川 博一
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/>

No. 1 質問件名 始動し始めた大型事業と新年度予算について

【質問要旨】－簡明に－

ここ数年来、予算編成過程の見直し（前年度2月補正予算との連動や新たな財源の確保等）を中心とする改革が進められ、着実に成果を上げ定着したと推察しております。効率的でフレキシブルな財政運営に敬意を表します。

令和4年度一般会計当初予算は、総額150億8,400万円と過去最高水準を3年連続で更新する規模となっています。

新年度予算について、以下の点について質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 固定資産税の特例措置（商業地）の継続による本市での影響額は
- 2 財政調整基金はどこまで増やし、何に使おうとしているのか
- 3 令和4年度歳入予算計上の市税、繰入金、地方消費税交付金、地方特例交付金、地方交付税、臨時財政対策債の増減理由は
- 4 令和4年度予算における目的別性質別歳出内訳書のうち、土木費及び公債費並びに人件費、投資的経費、その他の経費の増減理由は
- 5 予算編成（補正予算も含めて）決定のプロセスは（政策企画会議に付議されているのか）

答弁を求める者 市長

議員名	出川 博一
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/>

No. 2 質問件名 後期高齢者有料検診料金の減免等について

【質問要旨】－簡明に－

「団塊の世代」が後期高齢者となる2025年（いわゆる2025年問題）が、間近に迫っています。本市では、第6期介護保険事業計画（2015年3月策定）から2025年を見据えた、中長期的な計画を念頭に置いてきました。

一方では、各地域における2025年の医療需要と病床の必要量について、医療機能（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）ごとに推計した「地域医療構想」が、都道府県で動き出しています。

今後の高齢化の進展等について、以下の点について質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市における2025年9月末の高齢者人口と高齢化率の推計は
- 2 宮城県の「地域医療構想」における協議の動向は
- 3 総合計画後期基本計画での、地域医療・救急医療体制の充実への施策内容の主なものは
- 4 後期高齢者の健康診査での有料検診料金の減免をする考えはないか
- 5 公園遊具交換時、高齢者用遊具を積極的に推奨する考えはないか

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	7
受付月日	2月16日(水)
受付時間	17:00

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 2月16日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 10 番 若生 英俊

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	若生 英俊
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 地域商社「(株)1038」設立ととみやどの自立運営について

【質問要旨】－簡明に－

地域経済の活性化を図るため、地域資源の発掘から販路開拓、地域資源のブランド化など、地域に根ざした事業展開が期待される地域商社の存在意義は高まっている。

地域商社は一企業であるが、単に収益を追求する営利団体ではなく、最終的には地域産業の維持・成長を導く社会的・公益的な役割を負っている地域にとっての「地域公益企業」である。

1月27日、産業建設常任委員会で地域商社の内容について所管事務調査を実施した。

当日配布された令和2年度富谷宿観光交流ステーション自立運営モデル事業計画支援業務実績報告書（R3.3.26付）と、地域商社設立に伴う出資金の補正計上資料「地域振興組織設立にあたって」（R3.8.25：全協資料）に沿い、地域商社（株）1038が設立された。（2/16現在、会社成立の年月日未確認）

地域商社は「地域公益企業」（地域の公益性を重視しながら、持続的に収益事業に取り組む事業体）として設計することが重要であることから、以下、質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 地域商社「(株)1038」設立のねらいは
- 2 (株)1038は地域公益企業として設計されたか
- 3 地域商社「(株)1038」の中核的な営利事業は
- 4 地域商社の機能として、地域製品の販売を拡大、収益を上げ、自立的な運営を行い、さらには地域に利益を還元していくことも重要な機能とされるが、地域に利益を還元していく機能はどのように想定しているか
- 5 「(株)1038」が、ふるさと納税ポータルサイト運用事業を実施した場合のメリット、デメリットは
- 6 とみやどの指定管理による運営がテナントに及ぼす影響は

答弁を求める者 市長

議 員 名	若生 英俊
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 「地下鉄延伸」整備の見通しについて

【質問要旨】－簡明に－

2022年1月末の住基人口は52,481人、2015（H27）年4月に52,000人到達以来、2018（H30）年1月の52,678人をピークに、この間52,300人～52,500人台で推移している。

一方、2020年国調人口は51,651人と5年間で60人の増にとどまり、過去5年毎では、近い方の調査から4,549人、5,449人、5,683人の増加実績に比べ激減し、2020人口ビジョン将来推計人口の目標値53,289人より下回る結果となった。人口増の鈍化は、市税の伸びに直結する。

施政方針において、「地下鉄整備の事業化に向けた取組を本格化」するとのことであるが、記事によれば、担当者は「PFI方式で事業を進めれば、採算性の確保や行政の負担軽減が期待できる」としているが、検討区画の8割が仙台市地下部分にあって、仙台市側が「全くの白紙」や「延伸の計画はなく、交通政策計画に記載がない」と言及している。

また、PFI（民間資金活用による社会資本整備）方式の整備手法により、地下駐車場や商業施設をセットで民間企業が開発・運営し、建設費を回収し、開業後の収入も確保してもらう案があると、記事にはあるが、数百億円規模の民間投資が想定されるPFI方式による整備方式に実行可能性があるか疑問である。市民は身の丈に合う財政運営と、福祉、環境整備を強く望んでいる。以下、質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 人口増の鈍化傾向による今後の税収見込みの影響と試算は
- 2 地下鉄延伸について仙台市との合意形成の気運を高める場はどのように持たれているか
- 3 地下鉄延伸整備費が400億円から600億円が見込まれ、本市単独の財政負担での整備は不可能である。PFI方式による地下鉄整備手法の調査結果を経て令和4年度予定の「新たな都市交通システムの事業化検討調査業務」の内容は
- 4 地下鉄事業の採算ラインは1日約17,000人とされている中、現時点での想定乗客数は約9,000人と試算されているが、採算ラインまでどう高めていくのか

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	8
受付月日	2月17日(木)
受付時間	9:19

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 2月17日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 11 番 長谷川 る美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第1回富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第6
2条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 認知症高齢者の徘徊対策について

【質問要旨】－簡明に－

社会的にも課題となっている「認知症高齢者の徘徊」ですが、その理由は私たちが外出する理由と全く同じものだと言うことで、この症状は誰にでも起こる可能性があり「徘徊」を止めることは実際非常に困難だと言われています。

私自身が認知症徘徊高齢者の方を救助したと言う体験を通して、認知症、特に徘徊に対する地域住民の方の正しい理解と、地域との連携強化がさらに必要であると感じました。

また、徘徊高齢者の安全確保や介護者の負担軽減を目的としたGPS位置情報システムを用いた機器の導入やQRコード見守りシール、見守りキーホルダー等の検討も必要ではと考えます。以下、質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市での、過去5年間の認知症高齢者の行方不明事案や事故の件数は
- 2 SOSネットワークを使って、本市に協力要請があった過去5年間の件数は
- 3 地域での見守りと支え合いのために、認知症徘徊高齢者捜索模擬訓練の実施についての検討は
- 4 徘徊高齢者の安全確保や介護者の負担軽減を目的としたGPS位置情報システムを用いた機器の導入やQRコード見守りシール、見守りキーホルダー等の検討は
- 5 認知症サポーターを増やすためのインターネット配信によるサポーター養成講座の取り組みや、小学生を対象とした認知症サポーター養成講座の取り組みについての検討は

答弁を求める者 市長

議員名	長谷川 る美
質問方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 2 質問件名 災害発生時の備蓄体制の強化について

【質問要旨】－簡明に－

ここ数十年で、地球の気温上昇により異常気象や極端な降水量による災害が大幅に増加しています。自然災害を避けることは出来ませんが、常日頃からの備えは重要です。

中でも災害備蓄品については、災害発生時、電気・ガス・水道を始めとするライフラインが止まった場合、直接市民生活の日常に重大な影響をもたらします。

直接市民の生活に関わる備蓄体制の強化は「命を守る」ということから重要であると考え、以下質問いたします。

【質問項目】－列記－

- 1 本市の防災備蓄品についての、基本的な考え方と備蓄状況は
- 2 備蓄品の品目や数量をどの様に検討し、確保していますか
- 3 乳幼児や高齢者向けに特化した食品や、コロナ対応のマスクや消毒用品、食物アレルギーに配慮した食品の備蓄の現状は
- 4 賞味期限の近い備蓄品の有効活用は
- 5 富谷市地域防災計画に記載されている、あらかじめ予想される被災者の数、高齢者の数などのデータベースの構築状況は
- 6 本市の備蓄体制の課題は

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	9
受付月日	2月17日(木)
受付時間	11:18

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 2月17日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 5 番 渡邊 清美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡邊 清美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 児童、生徒の支援強化を問う

【質問要旨】－簡明に－

今年4月から不登校特例校が開校します。

この特例校には県内だけではなく、県外からも注目と期待が多く寄せられています。不登校児の支援には、オンライン学習、フリースクールと多くの選択肢が必要です。

また、コロナ禍で、学校生活、学習に不安を抱えている生徒も多くいることから、教職員にはきめ細かいケアが求められており、コロナ対応も合わせ負担が多くなっています。学習の不安が不登校の原因にならないよう、学習環境作りが必要です。

教職員の負担軽減、きめ細かい学習支援のためにも、市独自の教職員の確保も必要と考えます。

【質問項目】－列 記－

- 1 不登校特例校の準備状況及び加配も含めた教職員の配置はどのようになっているのか
- 2 市として独自の教職員強化を考えていないのか
- 3 今後、特例校でのオンライン学習等は考えられているのか
- 4 特例校以外の学校で、保護者、生徒等から勉強に対する不安等は聞かれていないのか
- 5 市内中学生の不登校率が高くなっています。要因をどのように分析し、対策をとっているのか
- 6 市内、小中学校のスクール・サポート・スタッフの配置状況は
- 7 フリースクールに通っている児童生徒に対する支援が必要では

答弁を求める者 教育長

議 員 名	渡邊 清美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 歩道の安全対策を問う

【質問要旨】－簡明に－

歩道に植樹されている木が原因で歩道が盛り上がる根上で、歩道が歩きにくい、安全に通行できない状況が見受けられます。

点字ブロックが繰り返し破損している場所があり、改善が必要です。歩道を安全通行できるよう、計画的な整備が必要と考えます。

また、道路標識の腐食について、令和3年3月議会で同僚議員も質問しましたが、その後の調査の状況など、更なる安全対策について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 今後の歩道整備はどのように行っていくのか
- 2 歩道の根上で、歩きにくい箇所の修繕を計画的に行うべきでは
- 3 人の出入りの激しい商店前の点字ブロックが繰り返し壊れているところがあります。点字ブロックの改善について長期的な計画が必要では
- 4 犬猫の糞尿や滞水等の影響でサビ等がある道路標識の点検、改修した箇所は

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	10
受付月日	2月17日(木)
受付時間	11:35

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 2月17日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 6 番 藤原 峻

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	藤原 峻
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 コロナウイルス感染拡大における更なる支援策は

【質問要旨】－簡明に－

コロナウイルスの新種であるオミクロン株の流行により、これまでにない感染者数になっています。36都県で、まん延防止等重点措置が実施されており、延長を国に要請する県もあります。

宮城県は、まん延防止等重点措置は適応されていませんが、連日感染拡大しており、経済の停滞は明らかです。市民は外出を控え、消費も低迷しています。実際に、富谷のお店でも、客が大幅に減少している状況があります。今度こそ本当にダメかも、という悲痛な声もあります。苦境に陥っている事業者が多く存在し、支援策は急務です。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市としての事業者を守る必要性をどのように認識していますか
- 2 コロナウイルスオミクロン株による感染拡大による事業主などへの影響を調査しては
- 3 今まで実施した独自支援策を総括し、新たな支援策を実施しては
- 4 まん延防止等重点措置に関して、県から国に要請をするように要望を出すべきでは

答弁を求める者 市長

議 員 名	藤原 峻
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 困窮者支援策の強化を

【質問要旨】－簡明に－

内閣府の「令和3年 子供の生活状況調査の分析報告書」が発表されました。2021年の2～3月に実施され、全国の2,715組から回答があったそうです。世帯の状況を見ると、「苦しい」、「大変苦しい」を合わせた割合は、ふたり親世帯だと21.5%ですが、ひとり親世帯では、51.8%になっています。また、シングルマザー世帯の過半数以上が貧困の問題を抱えていることが結果から分かっています。

「過去1年間に必要とする食料が買えなかった経験があったか」という設問では、ふたり親世帯では8.5%、ひとり親世帯では30.3%であり、ひとり親世帯の困窮が特に深刻です。

コロナウイルスの感染拡大による影響については、世帯全体の収入が減った世帯は、全体で32.5%だが、貧困層では47.4%と収入の少ない世帯がより大きな影響を受けています。こうした背景で、フードバンクが全国的に注目を集めており、コロナ禍で支援数が増えています。オミクロン株の感染拡大で、公的な支援策の充実が求められています。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市としての貧困対策をどのように位置付けるのか。また、市独自の調査が必要では
- 2 困窮家庭への更なる支援策が必要では。また、国の施策である「地域子供の未来応援交付金」の活用は
- 3 フードドライブなどの連携を行なっているが、2月28日から延長など定期的な開催の考えは。また、新たな企業紹介、連携の取り組み強化策は
- 4 ふうどばんく A G A I N の拠点確保の問題が出ており、SDGs の観点からも本市からの支援策が必要では

答弁を求める者 市長

議 員 名	藤原 峻
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 3 質問件名 LGBT当事者が安心して暮らせる富谷に

【質問要旨】－簡明に－

2019年に株式会社LGBT総合研究所が実施した大規模調査（全国の20～69歳42万8,036人）の結果、LGBT・性的少数者に該当する人は10%と判明し、当事者の半数以上が、誤解や偏見が多く、理解の促進を望んでいます。LGBTの自死未遂はそうでない人に比べて約6～10倍も多くあります。性的指向及び性自認により困難を抱えている人々の権利保障と支援の充実が必要です。

全国で同性パートナーシップ性が広がり、日本の4割の人口を占める自治体が参加しており、東京都でも今後推進するとしています。仙台市でも検討が始まっており、本市としても検討が必要と考えます。

仙台市では、男女共同参画仙台プラン2016に初めて性的マイノリティーに関する文言が書き込まれ、プラン2021年には、市民団体との協働として研修講師派遣、居場所づくり、公報誌発行、理解促進イベントを開催したとあります。富谷市男女共同参画基本計画でも基本目標にも環境整備についても記載があります。また、避難所における具体的な支援策も必要です。更なる全庁的な支援に関して検討が必要と考え、質問いたします。

【質問項目】－列記－

- 1 性的指向や性自認に対する差別禁止が国際的に広がっている中で、国連の声明や決議に対し、本市としてどのように受け止めていますか
- 2 本市としての今後の推進方針や計画はあるのか。また、市内での実施の検討は
- 3 2015年に文科省から「性同一性障害に関する児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」という通達が出されています。本市として、どのように学校現場で配慮を行っているか伺います。また、教職員の研修実施状況はどうなっているのか
- 4 パートナー制の導入を検討しては
- 5 富谷市地域防災計画、避難所運営マニュアルへ具体的な配慮を盛り込むことの検討は

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	11
受付月日	2月17日(木)
受付時間	11:40

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 2月17日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 3 番 村上 治

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	村上 治
質 問 方 式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/>

No. 1 質問件名 避難所の整備と防災訓練について

【質問要旨】－簡明に－

ここ数年、全国的に風水害が多発しています。また、地震について調べてみると2020年から2022年1月末までに国内で震度5以上の地震だけでも20件発生しています。このような中、災害に対する備えは喫緊の課題だと考えます。

そこで、以下の点について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 鷹乃杜防災センターへの、エアコン整備の検討状況について
- 2 令和元年第3回定例会一般質問において、避難所での熱中症対策にエアコン等整備が必要と意見を申し上げましたが、現時点での対応について
- 3 令和3年度富谷市総合防災訓練における行政区の参加状況とアンケート調査結果への対応について

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	12
受付月日	2月17日(木)
受付時間	12:00

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 2月17日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 4 番 塩田 智明

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	塩田 智明
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 明石台第三町内会館の早期修繕を

【質問要旨】－簡明に－

昨年11月、明石台第三町内会館の和室で畳が沈み込む箇所があり、担当課に相談しました。点検結果は、床板とそれを支える床束がシロアリとククイムシの被害でロボロになっていることが原因であることが分かりました。

地域住民の活動拠点となる町内会館は、最も身近な施設であり、安全・安心して利用できるよう適切な維持管理が求められます。

本市の公共施設等総合管理計画では、シロアリ被害等の点検・診断の実施方針が明確になっていません。

このため、町内会館のシロアリ被害等の点検・診断の考え方と明石台第三町内会の今後の修繕工事について、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 公共施設等の安全確保と修繕費を縮減するため、シロアリ被害等の早期発見が重要と考えますが、本市の町内会館のシロアリ被害等の点検・診断の考えは
- 2 本市の町内会館におけるシロアリ等被害の発生状況とその対応、修繕費用は
- 3 明石台第三町内会館のシロアリ、ククイムシの被害状況は
- 4 明石台第三町内会館の早期修繕が必要と考えるが、見解は
- 5 ククイムシは、木材の中に潜んでいる幼虫までは駆除できていないことが多く、翌年に羽化していないか、注意深く観察していく必要があります。翌年に点検が必要と考えますが、見解は

答弁を求める者 市長

議 員 名	塩田 智明
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 <input type="checkbox"/> 一問一答

No. 2 質問件名 高齢者も安心して暮らせるまちを

【質問要旨】－簡明に－

我が国では、総人口に占める65歳以上の人口割合が令和2年10月1日時点で28.8%となり、かつてない超高齢社会に入っています。今年からは、団塊の世代が75歳を迎える最初の年であり、3年後の2025年にはすべての団塊世代が75歳になります。

超高齢社会によって医療及び介護の需要と供給のバランスの崩壊が懸念され、高齢の方々が安心して暮らせるまちづくりが今後の重要な課題です。

【質問項目】－列記－

- 1 超高齢社会によって医療や介護の需要と供給のバランスの崩壊が懸念されますが、今後、諸課題にどのように対応し、高齢者が安心して暮らせるまちづくりを目指すのか伺います
- 2 今後、重症化予防等、効果の高い保健事業実施に向け、どのように取り組む方針か、伺います
- 3 健康寿命の延伸とフレイル予防が重要ですが、どのような対策を考えていますか
- 4 令和2年度からスタートした、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」については、県内の一部自治体では既に実施されています。本市の検討状況と、今後の実施予定は
- 5 高齢の方々の健康づくりの総合的な推進や、地域包括ケアシステムの充実を図るためには本市が果たすべき役割は大きい。どう実施されるのか、伺います

答弁を求める者 市長